

団体名:ふれあいガーデニングクラブ

# レイズドフラワーベッド作製



## ■活動の内容

ふれあいガーデニングクラブは、まちなみの美化と潤いのために、個人宅や施設にプランターを置いたり、空き地に花壇を作ったりする活動を行い、地域住民と一緒に花植えやその世話をを行うことによって、お互いに交流し、つながり合える居場所や暮らしやすい街をつくらうとしている団体です。

今回は、施設の空き空間などを利用して、車いすでも土いじりができる「レイズドフラワーベッド」を作製。材料の調達、加工（切断・組み立て）、設置の様子を視察しました。

- 日 時 令和7年1月30日(木)10時～12時
- 場 所 (福)名古屋キリスト教社会館東館前
- 内 容 レイズドフラワーベッド作製
- 参 加 3名



園芸福祉について学んだ10月の学習会。その際に構想を発表し合った“レイズドフラワーベッド”をこの日いよいよ作製。

当日はかなりの強風で大寒波の中、東館前の野外スペースで作業を行います。組立図を参照しながらすいすいと切断と組立作業を進めていき、最後は正面にシンボルであるふれあいガーデンの木札を取り付けて予定どおり12時に無事完成！実際に車椅子に乗って問題なく使用できるか試し、改善点を共有して終了。目標である、高齢者や障害のある方も草花の世話が楽しくできる地域の実現に一步近づきました。春には培養土の投入・苗の植え付けが待っています。



強風の中組み立て作業



車椅子に乗って  
完成品の具合を確認